

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達LABO.Proリハ 東古松		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 6日		2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	2025年 1月 6日		2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様一人ひとりの個性や発達の特徴を大切に、それぞれに適した支援を行っていること。	一人ひとりの個性や発達特徴を分析するためにフォーマル・インフォーマルなアセスメントを行っている。それらのアセスメント結果をもとに統合解釈し、適した支援プログラムを立案している。また、学習スタイルや感覚特性に応じた構造化を個別に行っている。	お子様一人ひとりに適した質の高いプログラムが提供できるように、支援プログラムの多様化を図っていく。そのために、ケースカンファレンス、定期的な研修・勉強会を実施していく。
2	保護者様への相談支援を大切に、毎利用時に保護者へのサポートを行っていること。	毎利用時に保護者様へのサポート時間を設けている。	保護者様にお子様の個性や特性を分かりやすく説明するために、アセスメントの見える化を行っていく。
3	専門職による専門的な支援を行っていること。	専門的なアセスメントをフォーマル・インフォーマルに行っている。また、アセスメント結果をもとに統合解釈し、専門的な支援プログラムを立案し提供している。	専門職の専門性の向上を図るために、ケースカンファレンスを定期的に行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援プログラムが固定化されやすい。	担当制により視点が狭まりやすい点。	定期的なケースカンファレンスの実施。
2	職員間の申し送り内容の質に差異がある。	申し送り方法が仕組み化されていない。	申し送り方法を仕組み化し、申し送り内容の質の均一化を図る。
3	書類業務に時間を要する。	書類業務の仕組み化が甘い。	書類業務の効率的な方法を文面化する。 AIの導入を検討する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こども発達LABO.Proリハ 東古松

公表日 2025年 3月 25日

利用児童数 38

回収数 25

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	6	0	0	・活動内容によっては十分とはいえない時もある ・1人で十分。配慮いただいているので大丈夫 だと思いが、2人とも個人的に動く活動をするには 狭いと思う ・十分確保されています ・出来れば一人でのひのびと一部履使えるとい いのかと思います	ご意見ありがとうございます。少しでも広いス ペースでご利用いただけるように室内環境について検討 したいと思います。また、限られたスペースで満足 のいく活動が提供できるようにプログラムの工夫を 行っていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	25	0	0	0	・手厚くみていただいている ・いつも優しく接してくださり、息子も親も通う 事が大好きです	ありがとうございます。引き続き、適切な職員の配 置数で安心してご利用いただけるように努めてまい ります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24	0	0	1	・とてもわかりやすく、子どもも迷わず行動でき ている ・設備は揃っているとは言えないが、限られた空 間で工夫がされていると思う	ありがとうございます。安心してご利用いただける ように室内環境の構造化に引き続き努めてまいり ます。また設備のブラッシュアップもできるように検 討したいと思います。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23	1	0	1	・書字の練習の際、体に合っていない机と椅子を 用意してくれていることがある	ご意見ありがとうございます。体格に適した机・椅 子で課題に取り組めるように、用具の見直しを行 いたいと思います。
適切 な支 援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	25	0	0	0	・親からはわからない視点からみてくれていて、 フィードバックしてくれる。参考になっていてあ りがたい ・専門性があり、的確な支援が受けられてありが たい ・その日、その日で先生が変わるので、特性を理 解して療育して下さると助かります	ご意見ありがとうございます。お子様の特性に応じ た支援が提供できるように、職員間の申し送りによ り密に行えるように努めてまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	23	1	0	1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されて いると思いますか。	25	0	0	0	・常生活に取り入れやすい支援方法を取り入れて くれ、それならできるかも！と、重く受け止めが ちな限りごとも前向きにとらえることができ る ・親の意見と子どもの特性を織り交ぜた支援をし てくれる	ありがとうございます。引き続き、お子様・保護者 様のニーズに沿った支援が提供できるように努め てまいります。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思 いますか。	24	0	0	1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思 いますか。	24	1	0	0	・その日の子どもの様子に合わせて臨機応変に対 応してくれていると感じる ・子どもの様子を見て支援内容を迅速に変えてち らっている ・ももの部屋での勉強が前は沢山療育してくれ ていたが今は名前を書く、字を書く事が多くなっ た	ご意見ありがとうございます。引き続き、臨機応 変に支援が行えるように努めてまいります。 保護者様の意見と、支援者の見立てをすり合わせ ながら、支援の内容を組み立てていきたいと思 います。引き続き、よろしくお願ひいたします。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会 がありますか。	3	1	17	4	・個別で療育していただく場であるので、交流を 求めている ・地区が違うので(遠方からの利用)何とも言え ない	ご意見ありがとうございます。今後、検討して参 ります。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	25	0	0	0			
13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされ ましたか。	23	2	0	0	・丁寧な説明を毎回してくれている	ありがとうございます。引き続き、丁寧なご説明 ができるように努めてまいります。	
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレー ニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われて いますか。	6	5	6	8	・学校への対応など、アドバイスをいただくお かげで担任、通級担任とも円滑に連携が取れて いると感じる	ありがとうございます。引き続き、関係機関先と連 携した支援が行えるように努めてまいります。	
15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況に ついて共通理解ができていますか。	25	0	0	0			
16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	5	0	0			

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24	1	0	0	回数が少ないときは空いた時間やキャンセルが出るのと連絡をくれるので、ありがたい。なのに、忘れてしまうこともあり申し訳ないと感じています。それに対しても前日に明日の時間など確認ラインを下さり、1回でも多く受けたい親の気持ちに寄り添ってくれていると感じます。	ありがとうございます。引き続き、保護者様の想いによりそった接遇が行えるように努めてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1	13	10	・こちらも個別での療育を求めて通っているの で、必要と思っていない	ご意見ありがとうございます。今後、検討して参ります。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	2	0	4		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	1	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6	4	3	12		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23	1	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	3	3	13		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	1	3	18		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	2	0	4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8	1	1	15	・親がついているので、力をいれなくていいと思う	ご意見ありがとうございます。ご利用中に怪我が生じた場合には、保護者様への状況説明や対応について説明させていただきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	25	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	23	2	0	0	休みの前の日になると、明日プロリハある？と確認してきて、明日は、違うというのがっかりしている。先生と対決するのが楽しみたいです。	ありがとうございます。引き続き、楽しみな気持ちでご利用いただけるように努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	25	0	0	0	・障害の部分だけを見るのではなく、子どもの性格も踏まえたうえで支援プログラムを組んでくださり、楽しく通うことができました。おかげで苦手だった球技にも積極的に参加するようになり、結果目の動きにも改善がみられいいことばかりでした。どうせおれなんてと、できない前提だった息子が、やりたい！勝たいたい！と練習にする様になり、いろんな面で成長を感じることができました。本当にありがとうございました。 ・活動が固定化して本人が飽きてきているなど感じる時があるので、柔軟に活動変更してもらいたいと感じる時がある。 ・要望を伝えたら取り入れてくださるし、専門の先生のアドバイスがいただけるのでありがたい。今後もずっとお願いしたいと思っています。	ご意見ありがとうございます。引き続き、お子様の成長につながり、満足したサービスをご利用いただけるように努めてまいります。支援内容の固定化に対しては、柔軟に変化していただけるように、職員間で支援プログラムのミーティングを行うことや、用具類の見直しを行いたいと思います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こども発達LABO.Proリハ 東古松				公表日		2025年 3月 25日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0					
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0					
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1					
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1					
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0					

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	3		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	4	2	余暇、地域交流について難しい	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	2		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	4		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	4		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	2	4		毎利用時に保護者様へ相談支援を行っている。改めて面談が必要と判断した際に、上長へ報告するフローがあるため、再度職員へ周知を図る。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	0		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0			